太陽の寿命: solarlife-qa030224.tex

太陽の放射エネルギーの観測値から寿命の長さを以下のような手順で推定しよう。

- 2. 太陽の放射エネルギーの起源は、いくつかの反応系列を通じて水素の原子核 (陽子) $_1^1 H (=p)$ の $_4$ 個が核融合し、 $_2^4 H e (=\alpha)$ になるときに放出されるエネルギーである

$$4p \to {}^{4}\text{He} + 2e^{+}2\nu \tag{1}$$

と仮定し、この 1 回の核融合で放出されるエネルギー Q を計算せよ。ここで陽子の質量(近似的に中性水素原子の質量と等しい) $m_p=1.007825$ amu, ${}_2^4{\rm He}(=\alpha)$ の質量 $M_\alpha=4.00260$ amu, 1 amu = $1.6605655\times 10^{-27}{\rm kg}$, 1amu × $c^2=931.5045$ MeV = 1.49×10^{-10} joule とする。c は光速度である。陽電子の質量を無視してよいとする。

- 3.1s 間に核融合する陽子の個数 dN_n/dt を計算せよ。
- $4.~1\mathrm{s}$ 間に核融合する陽子の質量 dM_p/dt を計算せよ。
- 5. 太陽の質量を $M_{\rm s}=1.99\times 10^{30}{\rm kg}$ として、その質量の 10 分の 1 が中心部に存在していると考えられる水素であると仮定して、太陽の寿命 T が何年になるか計算せよ。

(解答例)

1. まず、太陽定数を計算に都合のよい単位に変換する。

$$\beta = 1.95 \times 4.18 \frac{\text{joule}}{(60s \times 10^{-4} \text{m}^2)} = 1.36 \times 10^3 \frac{\text{joule}}{(\text{m}^2 \text{s})}.$$
 (2)

太陽が距離 d の地点には等方的にエネルギーを放射していると考えて

$$W = \beta \times (4\pi d^{2})$$

$$= 1.36 \times 10^{3} \frac{\text{joule}}{(\text{m}^{2}\text{s})} \times [4 \times 3.14 \times (1.5 \times 10^{11}\text{m})^{2}]$$

$$= \frac{1.95 \times 4.18 \times 1.5^{2}}{60} \times 10^{4+22} \times \frac{\text{joule}}{\text{s}} = 3.845 \times 10^{26} \left(\frac{\text{joule}}{\text{s}}\right). \tag{3}$$

2. 題意より

$$Q = (4m_p - M_\alpha) \cdot c^2 = (4 \times 1.007825 - 4.00260) \text{amu} \cdot c^2$$

 $= 26.73 \text{MeV} = 0.0287 \times 1.49 \times 10^{-10} \text{ joule} = 4.28 \times 10^{-12} \text{ joule}$ (4)

3. 題意より

$$\frac{dN_p}{dt} = \frac{4W}{Q} = 3.59 \times 10^{36} \text{ proton/s.}$$
 (5)

4. 題意より

$$\frac{dM_p}{dt} = \frac{dN_p}{dt} \times m_p = 6.01 \times 10^{11} \text{ kg/s.} (毎秒約6億トン減少)$$
 (6)

5. 題意より

$$T = \frac{\frac{1}{10}M_{\rm s}}{\frac{dM_p}{dt}} = 3.31 \times 10^{17} \text{ s} = 1.05 \times 10^{10} \text{ year} \approx 100 \,\text{\texttt{\^{G}}}$$
 (7)